

【別紙】平成26年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立川口高等学校)

(A4判横)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	教育基本法および学校教育法にのっとり、中学校における教育を発展拡充させて、高等普通教育および商業に関する専門教育を施し、もって、高潔にして調和のとれた人格を備え、民主的な国家・社会の形成者としての自覚と責任感と実践力に満ちた、心身ともに健全な国民の育成を期する。
目指す学校像	地域の期待に応えて、豊かな心を育み、進路希望を叶える学校

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	5名
学校関係者(教職員を除く)	2名
事務局(教職員)	7名

領域	学 校 自 己 評 価			年 度 評 価 (平成27年2月1日 現在)		
	年 度 目 標			重点目標の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
	現状と課題	重点目標	具体的方策			
組織運営	1 学年分掌が創意・工夫を凝らし、成果をあげた。学年分掌と連携を深め、組織力を今後も高めていく。 2 各学年の成果をあげた方策が引き継がれていくシステムを今後も継続していく 3 交通安全を願い、整容指導もしっかりと行われている。交通事故防止に努める。 4 市立3校統合にむけて、各検討部会と連携し、スムーズな統合を目指す。	①○学校自己評価重点目標シートを中心に参画意識と組織力を高める。 ②○学年相互の連携や進路指導と生徒指導等における分掌間の連携強化を図る。 ③○教職員一人一人の力が十分に発揮できる環境を整え意欲的・積極的に取り組む、職員集団づくりをする。 ④◎可能な限り各検討部会と学校との連携を図る。	①○学年・分掌・委員会・教科重点目標シートと目指す学校像との関連を明確にする。 ②○各学年・分掌・委員会の活動報告の機会を増やす。 ③○指導の目的等が明確で効果が形として確認できる日常の指導を重視し、徹底する。また、授業改善をとおして、自信と意欲に満ちた教員集団を目指す。 ④○毎日HRや全体集会をとおして、自転車マナーアップ推進校として交通事故防止の指導をする。	①○関連が具体的にようになってきた。 ②○連携が密になってきた。 ③○生徒指導部、進路指導部がリーダーシップを発揮し、各学年内で明確な指導体制により指導が出来た。新学年早期編成4年目。朝自習の実施や放課後の自習など、積極的な取り組みが継続的になってきた。 ④○自転車マナーアップ推進校として、秋の全国交通安全運動の発式を本校で、市長 奥ノ木 様をお迎えして行った。スクエアドストレイトも実施した。	A A A B	①○さらに、教職員全体で意識し、継続する必要がある。 ②○教職員の日常のコミュニケーションを図る環境作りを一層進める。 ③○教職員の主体的な取り組みを推進する環境を整備をする。 ④○引き続き自転車マナーアップ推進校に指定の有無にかかわらず、生徒先生方の事故防止に努める。
教育課程	1 生徒の86.52%が大学等への進学している。国際ビジネス科・普通科の特色を生かし、進学指導の充実を図り、第一志望校への生徒の希望を叶える。 2 学校行事、部活動等の特別活動も活発で成果を挙げている。活力ある学校づくりに向け特別活動と学習活動の調和をさらに図ることが課題である。	①○編成の趣旨を生かした教育課程の実施により生徒の進路希望を叶える。 ②○引き続き国際ビジネス科・普通科・特進クラスの特色を生かした進路指導の充実を図る。 ③○評価や評定とも関連させ授業を中心として自ら学ぶ力の定着を図る。 ④△特別活動との調和を図りながら、授業時間・家庭学習時間を確保する。 ⑤▽生徒指導・道徳教育・人権教育を推進し豊かな心と人権感覚を育成する。	①○各種検査、模試、面談等をおおしての正確な生徒理解に基づいた学習計画の作成と実施をする。 ②○センター試験の受験者数140名及び全科目受験者数を増やす。 ③○授業を中心として予習・授業・復習の学習サイクルを確立させる。 ④△授業時間の確保を図りつつ、教育計画の完全実施に努める。また、生徒の学習状況等を正確に把握し、自学自習時間の増加と充実を図る。 ⑤▽授業規律や日常の生活指導の徹底を図り、規範意識を高め豊かな人間性を育成する。	①○平成24年度の研究委嘱を契機に、検定試験上級合格や模擬試験が着実に向上してきていた。 ②○スタディサポートに基づき、年2回の面談週間の実施と時宜に応じた平素の面談により生徒の学習計画をサポートできた。受験サプリーも実施した。 ③○センター試験実受験者150名、全科目(5教科)受験者3名。 ④○2学年は全体で朝自習を実施、2・3年は特進クラスを中心に自習や放課後の補習の充実が図られている。先生方のご協力に感謝している。 ⑤△概ね計画通りにできた。自習室で勉強に励む生徒が増加した。 ⑥▽規律ある授業が出来ている。	A B A A B A	①○研究委嘱は終わったが、成果を継承する。 ②○生徒の学力を更に伸ばしていく。受験サプリーも約30名の利用があり、受験の心構えを更に向上させていく。 ③○3年間見直しした指導計画により、適切にセンター試験受験をさらに促していく。 ④○学校全体で生徒のために朝自習実施を継続する。 ⑤△自習室の利用マナーの向上。 ⑥▽今後も規律ある授業を継続していく。
開かれた学校づくり	1 授業公開や学校説明会、中学校訪問等により、地域から本校に対する理解は深まっている。より効果的な学校情報発信に工夫を凝らし、より一層理解を求めていく必要がある。また、台湾との学校交流を継続し、台湾への留学の県内拠点校として役割を担っていく。 2 PTAとは良好な協働関係があり、また、他校との交流や連携も充実している。県高P連南支部の理事校として努めている。 3 県高校教育指導課と連携事業を支える。	①○本校への理解を深める機会を増やし、積極的な情報発信に努める。 ②○学校評議員・学校評価懇話会を活用して開かれた学校づくりを推進し、教育活動の充実を図る。 ③○引き続き台湾との交流要請があれば、受入をする。また、台湾留学を支援する県内の拠点校としての役割を担う。また、高校教育指導課事業を支える。 ④△県高P連南支部理事校として、支部長校と協力していく。	①○ホームページ更新回数を増やすとともに内容の充実と連携(幼稚園・小学校との交流事業の実施、中学校とのスポーツ交流、幼・小・中学校PTAとの交流)を深める。 ③○土曜日の公開授業を積極的に活用していく。 ④○台湾の高級中学の受入は、おもてなしの心で歓迎する。県高校教育指導課事業の支援をする。 ⑤△県高P連南支部理事校で、支部長校と連携を図り、協力していく。	①○必要な情報提供を確実に更新した。 ②○幼稚園・小学校の交流事業は定着し生徒の参加人数も増え、幼稚園の実施回数が年間3回となった。 ③○土曜授業や学校説明会等の見学者が、今年度2692名(1月10日現在)である。土曜授業のみでは昨年度とほぼ同数。その他、地域の町会とも十分連携がとれており、交流も充実している。お互い協力である。④○台湾の高級中学の受入は県観光課と協力し、高校教育指導課の台湾事業を通訳を本校PTAを派遣した。更に支援する。 ⑤△県高P連南支部の理事として、支部長校を総合研修会(理事会)で支援、助言する。	B A A A A	①○活用方法を改めて再考する必要あり。 ②○幼・小との交流事業は男子の参加を促す。 ③○一層のPRにより、土曜授業公開の見学者を増やす。 ④○県観光課受入推進事業に協力し、本校生徒との交流を盛んにさせる。 ⑤△県高P連南支部理事として、さらにPTA同士交流を盛んにする。地域のPTAとの交流会はかなり盛んである。
教職員の資質向上	1 教員個々の資質は高く、さらに外部との連携、研修により更なる資質向上を図る必要がある。また、組織的な取り組みを強化することが求められている。 2 分かる授業として生徒の可能性を伸ばす授業の展開に向けて、予算範囲内で研修・研鑽を重ねていくとともに、研修成果の蓄積・共有化のシステムを継続していく。	①○目指す学校像と授業との関連を明確にした指導計画の作成と実施を推進する。 ②○積極的な外部及び校内研修会への参加と研修成果を還元・共有するシステムを構築する。 ③○先進校視察並びに市立3校の連携をとおして指導力の向上を図る。 ④○授業公開や各種授業評価を活用して指導力向上を図る。	①○目指す学校像を意識して、シラバスのさらに活用する。 ②○センター試験を意識した授業のレベルと進度の設定により全科目が全国平均を超えることを目指す。 ③○研修報告の場を設定する。 ④○授業公開、生徒による授業評価、入試問題分析、予備校主催の授業力アップのための研修参加促進等で資質向上を図る。 ⑤○各種資格取得指導のような指導内容を・日程・結果の明確な指導をとおして指導力向上を図る。	①○新学習指導要領完全実施に向けた改善を図ることが出来た。 ②○全国平均を超えたのは、17科目中6科目である。 ③○予備校や教育相談関係者からの講師を招き研修会を実施した。 ④○予備校や各種団体による教育研修会の参加が増え資質向上に努めた。 ⑤○平素からまた検定前に計画的な補習等を実施し指導力向上を図った。	B B B B A	①○今後もより良くなるようにする。 ②○平均点までと点数の科目が多かった。今後も向上する努力する。 ③○引き続き、研修会は実施すべき。 ④○予算的に限界が来ているため、参加形態等について検討する必要がある。 ⑤○引き続き、実施していく必要あり。
施設・設備等の管理	1 施設設備の定期点検実施により、危険箇所・破損箇所の早期発見と迅速な修理が行われている。 2 清潔で心地よい教育環境の維持にさらに努めていく。また、非常災害のとき生命を最優先して安全を確保していく。	①○効果的・効率的な予算執行と施設設備の適正管理により安全、清潔で心地よい学習環境の保持を図る。 ②○緊急地震速報の設置に伴い、非常災害時の適切な対応態勢の整備を推進する。	①○学期毎の施設点検シートの活用、美化清掃活動の指導の徹底および朝夕、清掃時、授業や部活動の開始時等の日常点検を徹底する。 ②○節電節水し、前年度値を目標とする。 ③○緊急地震速報の設置に伴い、非常災害時マニュアルを基本とし、風水害にも対応し、訓練の徹底を図る。	①○定期的な点検により、施設の不備を早めに修繕できた。 ②○節電節水の意識が定着してきた。 ③○マニュアルに防災マニュアルが策定できる。また、緊急地震速報システムも導入し、機能している。昨年秋の早朝にやや大きな地震が発生したとき、直ちに放送し、役立ち無事だった。	A A B	①○再編統合を見通して、一層丁寧を実施する。 ②○引き続き継続する。 ③○策定後の運用に係る教職員に対する周知をさらに徹底する。また、風水害にも対応していく。 ④○メール連絡配信の導入し、さらに確実に正しい情報提供していく。

学校関係者評価	
※実施日 平成27年2月6日 文書発送、回答。	
学校関係者からの意見・要望・評価等	
○自転車安全指導や朝の風評委員による校門指導はよい。	
・先生方の健康管理で、定期的に産業医が来校し、相談を実施している。生徒の心のケアも行っている。 ○今後も引き続き自転車等の事故防止に努めていただきたい。 △本年の年間雨天日数が16(日)回あった。合習着率が、平成24年度が73.08%、平成25年度が79.87%、本年度82.25%で少しずつ上昇している。雨天時の生徒の登下校において、安全確保を図っている。	
○全体的に進路指導が行き届いている。さらに向上させてもらいたい。	
□3月20日に予定されている卒業生による進路ガイダンスの一環として、市と協力して、予備校講師を招いて、1・2年生分けて、講演していただいた。非常に生徒にも刺激になり、今後も進学等に期待ができる。	
○十二月田中学校の秋の運動会、市立川口高校のグラウンドを借りて実施しました。事前のグラウンド整備には感謝申し上げます。	
○授業もしっかりと受けている。	
□海外との取組み継続していただきたい。 ・学校行事や市や県の諸行事に積極的に取り組んでいる様子がわかる。	
○先生方の授業もしっかり行っている。	
○学力向上のため、協調学習方法等、校長から情報提供があり、今後参考にしていきたい。	
○商業科で、検定試験に向けての補習補講を実施しており、結果が出てきている。	